

# とさるふ 資料紹介

＝(87)＝

## 収集資料紹介ノート ―モノに歴史あり―

### (六) ハネボウキ「羽箒」

ふ化した蚕を蚕座さんざに移してやることを「掃立はきたて」といいます。蚕の飼育は、この「掃立て」から実質的にはじまるといってよいでしょう。この時、蚕を傷つけないように軽く掃き落とす道具を、「ハネボウキ」または「ハボウキ」と呼びます。

この「ハネボウキ」は鳥の羽で作られており、中でもワシ・鷹・トビなどの大型の鳥、あるいは水鳥が良いとされました。



▲ハネボウキ

◀高橋余一画『生活絵巻』より



今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成十年八月分)

#### ○生糸

(朝日幸男さん／三和町)

#### ○エンザトリなど五点

(大野公夫さん／山之上町)

#### ○俵しめ器

(渡辺誠治さん／本郷町)

#### ○米選機

(板津政夫さん／加茂野町)

#### ○鉱物標本

(佐光篤さん／太田町)

博物館建設のため、現在いろいろの資料を収集しています。文化課(文化会館内／■内四〇八)まで情報をお寄せください。